

「湯川村地域公共交通に関する意向調査及び実証運行支援業務」に係る

評価基準表

区分	評価の視点	評価
(1)業務理解度	社会動向（交通空白地に対する課題、認識等）が理解できているか	10
	本業務と類似の業務を過去5年以内に実施したことがあるか	
	地域の課題特性を十分に踏まえた考察であるか	
	先進事例等に十分な知見を有しているか	
(2)意向調査実施 及び分析体制	意向調査の設問の提案、実施方法や結果の整理、分析について具体的かつ効率的な計画が示されているか	30
	年齢・性別・免許保有状況・身体能力（健康状態）等の属性に加え、生活圏域・住民へのニーズを踏まえたデータ分析について効率性・信頼性が考慮された提案であるか	
	地域の課題解決のために、デジタル技術を活用した新たな施策等につながる考え方や具体的なプロセスが提案されているか。	
	村との連携・コミュニケーション体制が整っているか	
(3)施策方針・ 事業方向性整理	地域特性（地形、人口、立地等）を捉えたものになっているか。	30
	村の公共交通の現状や将来の予想される課題などを前提とした内容になっているか。	
	既存の公共交通機関との役割を踏まえた内容になっているか	
	既存の公共交通機関やタクシー利用助成の見直し等に関する提案がされているか	
(4)実証運行計画 及び実証運行	業務を円滑かつ効率的に遂行できる作業スケジュールが提案されているか	15
	運行ルート・停留所の配置・運行ダイヤ・運行方法（ワゴン車等）の選定理由が合理的か	
	地域特性（地形・気候等）に即しているか	
	実証運行を行う際に必要となる支援策が提案されているか	
	実証運行の位置付け及び本格運行への移行を見据えた整理がなされているか	
(5)提案に係る実施 プロセス及びプレゼンテーション力	実証運行の利用実績、利用者満足度等の分析手法が適切であるか、また課題抽出及び改善提案が具体的かつ実効性を有しているか	10
	的確で見やすい資料を作成する能力があるか	
	合意形成やファシリテーションに対する技術はあるか	
	プレゼンテーションが分かりやすく、説得力があるか	
	質問者の意図を速やかに理解し、十分な回答ができていますか	
(6)見積書	業務に対する取組姿勢が高く、熱意を感じられるか	5
	見積金額、内容が提案内容に対して適切か	
合計		100